

令和7年9月11日	
資料提供	
提供元 及び 担当者	高野町教育委員会
連絡先	電話 0736-56-3050

高野山小学校5年生稲刈り体験実施のご報告

高野町では、高野山小学校からの要請に応じて、将来を担う子どもたちに「地域農業の大切さ」、「食・命・環境の大切さ」についての理解を深めることを目的に、豊かな自然環境を学びの場として活用した稲作体験を毎年実施しています。

この度、学校給食用米を栽培している地域団体「富貴・筒香 田んぼづくりタイ(以下、田んぼづくりタイ)」のご協力のもと、高野山小学校5年生の児童15名が、5月に自分たちが植えた稲をひと束ずつ鎌で刈り、地元の木材で組み立てた“はざ”にかけるなどの稲刈り作業を体験しました。

児童たちは、地元団体の久保会長から、鎌の使いかたや稲の持ちかた等を教わり、テンポよく作業を進めました。

稲刈り機の体験の際には、「がんばれー!」とお互いに声援を贈り、励ましあいながら元気いっぱいに取り組んでいました。

参加した児童は、「刈り取る感覚が楽しかった」や「機械だと簡単だった。機械がない中で稲刈りしていた昔の人はすごいと思った。」と話していました。

作業の終わりには、児童と一緒に参加した平野町長から、「天気の良い中での収穫作業、お疲れ様でした。皆さんが稲作体験したこの田んぼのお米も学校給食米になるそうです。自らが栽培に関わったお米を食べるということは、特別な経験になると思います。ご協力いただいた地域の皆さま、そして、応援に駆けつけてくださった伊都振興局長の杉本局長、職員のみなさまありがとうございました。」とお話があり、最後には児童から田んぼづくりタイの皆さんに感謝の気持ちを伝えて体験を終了しました。今回収穫したお米は精米され、その後給食で子どもたちに提供されます。

日 時：令和7年9月10日(水) 13時30分～15時00分

場 所：筒香多目的集会所(高野町大字上筒香46)隣接水田

内 容：①地元農家による稲刈り作業の説明

②稲刈り作業

(1. 鎌での手刈り、2. 機械での刈り取り、3. はざかけ作業)

③田んぼづくりタイの皆さんへのお礼のことば



はじめに田んぼづくりタイ会長の久保さんが鎌の使い方を教えてくれました



手刈りの様子

平野町長の稲刈り機の実演にこどもたちから「町長ー！がんばってー！」と声援があがりました



手刈りの様子



（左：平野町長）恒例の安定感のある機械操作でした。

（右：伊都振興局杉本局長）初めての機械操作を皆で応援しました。



集合写真